

土地利用分類過程における誤分類の要因に関する考察

The factors leading the miss classifications in the land use classification processes.

花島 裕樹^{1*}

Yuki Hanashima^{1*}

¹筑波大学大学院, 生命環境科学研究科

¹SIS Div., University of Tsukuba.

近年の複雑な都市構造において, 土地利用データは, 都市を空間的に把握する上で有用である。土地利用データの多くは, リモートセンシング画像を用いて作成されている。しかし, リモートセンシング画像は, 地表面の情報を扱うため, 土地の人間による詳細な利用を分類する上で, 不適切であると言える。それに対して, 近年刊行されている土地利用データの中には, リモートセンシング画像と現地調査などを併用し, より詳細な分類体系をもつデータもある。このようなデータは非常にコストが高いものの, 土地被覆のみならず, 土地利用の詳細な分類が可能である。しかしながら, 土地利用の分類体系に関して, 分類定義が複雑になりすぎる傾向もあり, 利用者と作成者のコンセンサスが構築されているとはいえない。さらに, 国際的な土地利用比較などを考えた場合も複雑な分類定義は障害になりえる。

先行研究として, 刊行されている土地利用データのうちで, 空中写真の判読と現地調査, さらにその他の諸資料を用いて作成されたデータを用いて, 主題属性の精度評価を行った。そこで, その結果を用いて, 誤分類の顕著な地物, すなわち判読者が判読を誤った地物を注目し, その要因を考察する。

キーワード: 土地利用, 主題精度, 誤分類

Keywords: Land use, thematic accuracy, miss classification